

2018年度鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程

国際乾燥地科学専攻 ABE Initiative Program 入学者選抜試験

学生募集要項

鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程国際乾燥地科学専攻においては、乾燥地農学に関する研究を行う ABE Initiative Program による外国人留学生を下記により募集する。

I 教育方法

学生は、国際乾燥地科学専攻特別コースの2年間の博士前期課程に所属し、定められた教育課程において30単位以上修得し、学位論文を提出し、その審査及び最終試験に合格すれば、修士（農学）又は修士（学術）の学位を授与される。

特別コースにおいては、開設する授業科目及び研究指導をすべて英語で行う。

II 教育研究分野及び募集人員

1. 教育研究分野

教育研究分野の決定に当たっては、「乾燥地での生物生産」、「乾燥地の環境保全」及び「乾燥地での農業経営」を念頭において、別添の教育研究分野一覧から選択すること。

2. 募集人員

ABE Initiative Program 2名

III 出願資格及び条件

1. 対象

独立行政法人国際協力機構（JICA）が推薦する者。

2. 国籍

独立行政法人国際協力機構（JICA）が指定する国籍を有すること。

3. 年齢

1978年4月2日以降に出生した者。

4. 渡日時期

入学手続の日までに渡日可能な者。入学手続の詳細については独立行政法人国際協力機構（JICA）あてに通知する。

5. 学歴

次の各号のいずれかに該当する者

(1) 大学を卒業した者及び2018年9月までに卒業見込みの者

(2) 学校教育法第104条第4項の規定により、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び2018年9月までに授与される見込みの者

(3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び2018年9月までに修了見込みの者

(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2018年9月までに修了見込みの者

(5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2018年9月までに修了見込みの者

(6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外

国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって(5)の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2018年9月までに授与される見込みの者

- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2018年9月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号による)
- (9) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で22歳に達した者及び2018年9月30日までに22歳に達する者
- (10) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者

なお、上記(9)又は(10)により出願する場合は、あらかじめ資格審査を行うため、主担当予定教員を通して鳥取大学農学部教務係で所定の申請書を受け取り、2018年3月13日(火)までに提出すること。審査結果は、2018年3月26日(月)までに通知する。

6. 健康

心身ともに大学における学業に支障がないこと。

7. 語学力

研究指導等は主として英語で行うことから、英語能力が十分であること。

IV 出願手続

1. 出願期間

入学志願者は、出願書類を2018年4月2日(月)から2018年4月25日(水)(必着)までに、主担当予定教員を通して鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科へ提出すること。個人での出願は受け付けない。

なお、出願の際は主担当予定教員と連絡を取り合い、あらかじめ受入の許諾を受けておくこと。

2. 出願書類

- (1) 入学志願票(所定の様式)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 正本1部
- (2) 口述試験発表要旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 正本1部
(別紙のフォーマットを参考にして、これまでに学んだことを踏まえて入学後に取り組みたい研究について、その要旨をA4判1枚にまとめること。なお、使用言語は英語とする。)
- (3) 研究計画書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 正本1部
(国際乾燥地科学専攻において行なおうとする研究の具体的な計画を作成すること(様式任意、A4サイズで4ページから6ページ)。なお、使用言語は英語とする。)
- (4) 健康診断書(最近6か月以内に受診したもの)・・・・・・・・・・・・・・ 正本1部
- (5) 本人の戸籍身分を証明する書類(例えば、パスポートや本国の戸籍謄本)・・ 写し1部
- (6) 写真(最近6か月以内に撮影したもので4×3cm、上半身、正面、無帽、裏面に国籍及び氏名を記入し出願書類所定の場所に添付のこと。)・・・・ 1枚

3. 出願についての注意事項

- (1) 入学志願者は、面接又はインターネット・インタビューを受けること。面接又はインターネット・インタビューは、2018年5月15日(火)から2018年5月31日(木)までの期間に実施する。なお、インターネット・インタビュー受験者については、原則としてインターネット・インタビュー受験までに「インターネット・インタビュー誓約書」を、受験後に「インターネット・インタビュー確認書」の原本を提出すること。
- (2) 出願書類は、原則英語により、できる限りタイプ等を用いてすべてA4サイズに統一して

作成すること。英語以外の外国語により作成する場合は、日本語による訳文を添付すること。

- (3) 出願書類がすべて完全かつ正確に記載されていない場合、付属書類が完全に揃っていない場合、又は提出期限を過ぎたものは一切受理しない。
- (4) 入学志願者は、入学志願票に希望する教育研究分野名を記入しなければならない。教育研究分野は、別添の教育研究分野一覧から選択すること。なお、入学志願票に研究教育分野名の記入のない場合は、審査することができないので特に注意すること。
- (5) 入学志願者は、主担当教員予定者（副担当教員を含む）と密接な連絡をとって、研究計画を作成しなければならない。
- (6) 提出書類の返却はしない。

4. 入学時に要する経費

入学後に大学生活を安心して過ごせるよう、学生教育研究災害傷害保険制度（学研災）及び留学生向け学研災付帯学生生活総合保険（留学生用保険）に加入すること。

補償内容と保険料は次のとおり。各保険の詳細については、各担当へ問い合わせること。

i) 学研災：この保険は、正課中、課外活動中又は大学構内あるいは通学途中に被った不慮の事故で死亡、負傷した場合に支払われる傷害保険である。

保険料（2年間）：1, 750円

担当：保健管理センター（E-mail hokekan-jimu@ml.adm.tottori-u.ac.jp）

ii) 留学生用保険(タイプB)：この保険は、(1)他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊した場合、(2)ケガや病気で3日以上入院して、ご家族が駆けつけたときの交通費や宿泊費の支払いを補償する保険である（学研災と異なり、補償の時間帯や場所についての限定はない）。

保険料（2年間）：3, 260円

担当：国際交流課（E-mail kokuko-gaku@adm.tottori-u.ac.jp）

5. 選抜の方法等

(1) 書類審査

本研究科は、提出された出願書類により審査する。

(2) 合格通知

合格通知は、7月上旬に独立行政法人国際協力機構（JICA）に通知する。

V 注意事項

- 1. 留学生は渡日に先立ち、日本の風土、習慣、気候、大学の状況についてあらかじめ研究しておくことが望ましい。また、日常生活は日本語での生活になることについて十分理解しておくこと。
- 2. 提出書類等の記載事項に虚偽の記入がある場合には入学後でも入学許可を取り消すことがある。

口述試験発表要旨のフォーマット

A 4 (210 mm × 297 mm) 用紙 1 枚

フォントサイズ等

題目, 氏名, 志望教育研究分野: 1 2 ポイント

本文: 1 1 または 1 2 ポイント

題目はセンタリング, 氏名 (志望教育研究分野) は右揃えする。

これまでに学んだことをふまえて入学後取り組みたい研究の内容, 背景, 方法などについて記載してください。図表 (白・黒) などを入れてもかまいません。また, 全て, ワードプロセッサを用いて印字し提出してください。

The diagram illustrates the required format for the oral exam abstract. It shows a large outer rectangle representing the A4 paper (210 mm × 297 mm). Inside this rectangle, a smaller inner rectangle is defined, with a 25 mm margin on all four sides. The text within the inner rectangle is centered and reads:

題 目
鳥取 太郎 (保全情報学)
(氏名の後に 1 行あける)
本 文

教育研究分野一覧

専攻	コース	教育研究分野	教員名	キーワード1	キーワード2	キーワード3	キーワード4	キーワード5
国際乾燥地科学専攻	一般コース・特別コース	水士環境保全学	猪迫 耕二	農地の修復	土壌-植物-大気連続系	灌漑排水	除塩	生物環境物理
		乾燥地環境資源学	遠藤 常嘉	土壌資源	灌漑農業	塩類動態	土壌塩類化	環境修復
		農業造構学	緒方 英彦	水利施設	農道	機能診断	ストックマネジメント	凍害
		分子育種学	辻本 壽	コムギ	ストレス耐性改良	遺伝資源拡大	染色体工学	食糧不足
		保全情報学	恒川 篤史	環境評価・モデリング	リモートセンシング	GIS	地域環境計画	持続可能な土地管理
		乾燥地地形学	Paolo Billi	河川地形学	河川水文学	土砂動態	ガリー侵食	土地劣化
		乾燥地灌漑排水学	藤巻 晴行	節水灌漑	ウォーターハーベスティング	リーチング	塩類集積	土壌侵食
		国際農業開発学	安延 久美	地域研究	農業経営学	技術普及	農村開発	共有資源管理
		植物栄養学	山田 智	塩害	養分吸収	作物の品質	アクアポニックス	節水
		乾燥地緑化学	山中 典和	乾燥地緑化	生態系修復	森林生態学	樹木耐塩・耐乾性	植物水分生理
		環境土壌学	山本 定博	環境保全型農業	塩類土壌	土壌診断	土壌有機物	土壌生成・分類
		持続的土地管理学	Nigussie Haregeweyn Ayehu	土壌劣化	持続可能な土地管理	統合的流域管理	空間解析	水文モデル
		植物生理生態学	安 萍	環境ストレス応答	環境ストレス耐性機構	乾燥地農業	塩性土壌	塩生植物
		乾燥地保健医学	大谷 眞二	国際保健	環境医学	渡航医学	感染症	非感染性疾患
		乾燥地緑化保全学	衣笠 利彦	乾燥・半乾燥草原	地球環境変化	人為的攪乱	二次遷移	植物の物質生産
		乾燥地応用気象学	木村 玲二	接地境界層気象	水文気象	リモートセンシング	乾燥度モニタリング	ダスト
		乾燥地気候学	黒崎 泰典	気候学・気象学	ダスト(黄砂)	風食	気候変動	砂漠化
		地圏環境保全学	齊藤 忠臣	土壌中の水・溶質の移動	水・土・植物の関わり	土壌侵食	環境計測技術	UAV(ドローン)
		水利用学	清水 克之	農業水利	農地水文	灌漑システム評価	塩類集積	マイクロ水力発電
		自然エネルギー工学	田川 公太郎	太陽・風力エネルギー	エネルギー生成・変換	エネルギーシステム評価	淡水化技術	伝熱・物質移動
		乾燥地微生物学	谷口 武士	微生物生態学	生態系修復	根圏微生物利用	メタゲノム	菌根菌
		乾燥地作物栽培学	西原 英治	薬用植物	アレロパシー	連作障害回避	LEDによる植物工場	炭化物
		施設環境材料学	兵頭 正浩	埋設管	耐力評価	環境材料	水環境修復	産業副産物
		地球環境変化生態学	Fei Peng	地球環境変化	フィールド実験	砂漠化	植物と土壌の相互作用	生態系
		環境無機毒性学	寶來 佐和子	微量元素	野生生物	ヒト	生態系	リスク評価
		理論物理学	池野 なつ美	相対論的量子力学	強い相互作用	中間子	原子核	数値計算
国際農業普及学	Asres Elias Baysa	農業普及論	ジェンダーと開発	農業経済学	農村開発	アフリカ		
水圏環境科学	吉岡 有美	地下水	流域水循環	農地水利用	多面的機能評価	灌漑排水		

**Academic Year of 2018 Master's Program Department of Dryland Science
Graduate School of Sustainability Science, Tottori University
ABE Initiative Program Entrance Examination
GUIDELINES FOR APPLICATION**

Department of Dryland Science of the Graduate School of Sustainability Science, Tottori University invites applications from prospective foreign students funded by ABE Initiative Program for the academic year 2018/19.

I. OUTLINE OF THE CURRICULUM

Students will be belonged to the Special Program in English, Department of Dryland Science which is a two year master's program, and must earn at least 30 credit units and write a Master's thesis to obtain his/her degree of Master of Agriculture or Master of Science.

All of the classes and research guidance are provided in English in the Special Program in English.

II. FIELDS OF EDUCATION AND RESEARCH, AND NUMBER OF STUDENTS TO BE ADMITTED

1. Fields of Education and Research

Each applicant must select his/her field of education and research and primary supervisor from the 'List of Fields of Education and Research', under the following fields: Field Production, Environmental Conservation, and Farm Management in Dryland.

2. Number of Students to be admitted

ABE Initiative Program - Two students

III. QUALIFICATIONS

1. Eligibility

Applicants must be recommended by an independent administrative agency of the Japan International Cooperation Agency (JICA).

2. Nationality

Nationalities specified by the Japan International Cooperation Agency (JICA is required).

3. Age

Applicants under ABE Initiative Program must have been born on or after April 2, 1978.

4. Arrival in Japan

Applicants must arrive before the day of commencement of enrollment procedures.

5. Academic career

Applicants must meet one of the following criteria.

- (1) Graduated or expected to graduate from a four year university program on or before the end of September 2018.
- (2) Awarded or expected to be awarded a bachelor's degree by the National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education following the School Education Law Article 104 Clause 4 on or before the end of September 2018.
- (3) Have finished or expected to finish 16 years of formal education in a foreign country on or before the end of September 2018.
- (4) Have finished or expected to finish 16 years of formal education of a foreign country on or before the end of September 2018 by completing Correspondence Education courses provided by the country in questions while residing in Japan.
- (5) Have finished or expected to complete a program provided by an educational institution which owns degree programs offered in foreign countries (only the program that grants the diploma for 16 years of formal education in the said foreign country) which is also recognized as a formal educational institution in the said county while authorized by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology on or before the end of September 2018.
- (6) Have been awarded or expected to be awarded a degree equivalent to bachelor's by completing program duration of which is more than 3 years (includes the case of finishing 16 years of formal education of a foreign country by completing Correspondence Education courses provided by the country in question while residing in Japan, and the case of obtaining degree specified by (5) when graduating from an educational institution recognized by the foreign country in question) at a university or other form of school in a foreign country (limited to the institutions with their educational quality such as education and research activities recognized by the evaluators approved by the government of the foreign country in question or other relevant authorities, or institutions specifically recognized by its equivalent by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology) on or before the end of September 2018.
- (7) Have finished upper-level course of a specialized training college (limited to the course duration of which is more than 4 years and meets other requirements provided by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology), which is specially approved by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, after the date provided by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology or be expected to finish above mentioned course before the end of September 2018.
- (8) Specially recommended by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology (Public notice Item 5 by Ministry of Education in 1953)
- (9) Reach or have reached 22 years old on or before the end of September 2018 whose qualification is recognized to be equivalent or higher than those who graduated from a four year university program by individual qualification evaluation at the Graduate School of Sustainability Science.
- (10) Admitted to a graduate school by the School Education Law Article 102 Clause 2, and one's academic performance is recognized to be suitable for the Graduate School of Sustainability Science.

Applicants who are applying under (9) or (10) category must get an application form for qualification evaluation from their prospective supervisors to take qualification evaluation before application. The form should be submitted no later than March 13, 2018. The result of evaluation will be announced by March 26, 2018.

6. Health

Applicants must be physically and mentally healthy enough to pursue studies at university.

7. Language proficiency

A good working level of English is required.

IV. APPLICATION PROCEDURE

1. Application Period

Applicants must fill and submit the documents listed below to the prospective primary supervisor during the period of April 2 to 25, 2018.

Applicants must communicate with their prospective primary supervisor before submitting the application form, and obtain permission for acceptance in advance.

2. Application Documents

(1) Application Form **【a prescribed form】**

(2) Manuscript of Oral Examination Presentation

※Using the attached format as a reference, describe the research to be conducted after admission utilizing what you've learned previously in 1 page on A4 paper. Manuscript must be prepared in English.

(3) Research Proposal

※Applicants must submit detailed research plans to be conducted at Department of Dryland Science. It must be written in English (Format not specified, and A4 size paper, 4 - 6 pages).

(4) CERTIFICATE OF HEALTH completed by a medical doctor within six months of application date.

(5) Copy of passport, or Certificate of citizenship issued by the applicant's local governmental authority.

(6) Passport size photograph (4 x 3 cm); front- faced, up-from-bust, bare-headed, taken within 6 months of the application date with the applicants name and nationality on the reverse side. (They should be pasted on to the designated place on the Application Form).

3. Notes

(1) Applicants must participate in an oral interview examination or internet-based written examination. The examination will be conducted during the period of May 15 to 31, 2018. The applicants who take an internet-based written examination submit the original of 'Pledge for Internet based Written Examination' before the examination and the original of 'Confirmation Letter for Internet based Written Examination' after the examination.

- (2) The above documents should be either typewritten or printed neatly in English on A4 size sheets of paper. If they are written in any other language, a Japanese translation should be attached.
- (3) Applications will not be accepted unless all the documents mentioned above are fully and correctly completed and delivered to Tottori University by May 31, 2018.
- (4) Applicants must fill their desired Field of Education and Research in their Application Forms. The field is selected from the 'List of Fields of Education and Research.' Application Form without filling in the Field of Education and Research will not be accepted.
- (5) Applicants must contact the professors (prospective primary supervisor and secondary supervisors) in advance during preparation of application documents.
- (6) None of the documents submitted will be returned to the applicants.

4. Fees on Entrance

Students of Tottori University are required to be covered by the Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research ("Gakkensai") and the Comprehensive Insurance for Students Lives Coupled with PAS for International Students ("Insurance for International Students").

[Compensation contents and Insurance premiums]

- i) Gakkensai : This is an accident insurance which covers injuries occurred as a result of a sudden accident while insured students are participating in regular or extracurricular activities, being on campus, or commuting to school.

Insurance premiums (2 years): 1,750 yen

Department in charge: Health Science Center (E-mail: hokekan-jimu@ml.adm.tottori-u.ac.jp)

- ii) Insurance for International Students (Type B) : This insurance covers (1) in case of causing injury to another person or damaging the property of others, (2) compensate for the payment of transportation and accommodation expenses in case family members come to Japan to support the insured if he/she is hospitalized due to injury or illness for more than 3 days. (Unlike "Gakkensai", there is no restriction on time and place)

Insurance premiums (2 years): 3,260 yen

Department in charge: International Affairs Division (E-mail: kokuko-gaku@adm.tottori-u.ac.jp)

For more details, please contact each department.

5. Selection Procedures

① Applicant Screening

Selection will be made according to submitted documents.

② Announcement of Successful Applicants

Tottori University will send the Certificate of Acceptance for successful applicants to JICA in the first half of July 2018.

V. NOTES

1. Upon enrollment, the new students are advised to become well informed about Japanese climate, customs, manners, and other cultural aspects in general before coming to Japan. It is strongly advisable that they study Japanese language. Knowledge of the Japanese language is very helpful to newcomers in Japan.
2. If false statements are discovered in the application documents, admission shall be canceled even after acceptance to the SP.

Oral Examination Manuscript Format

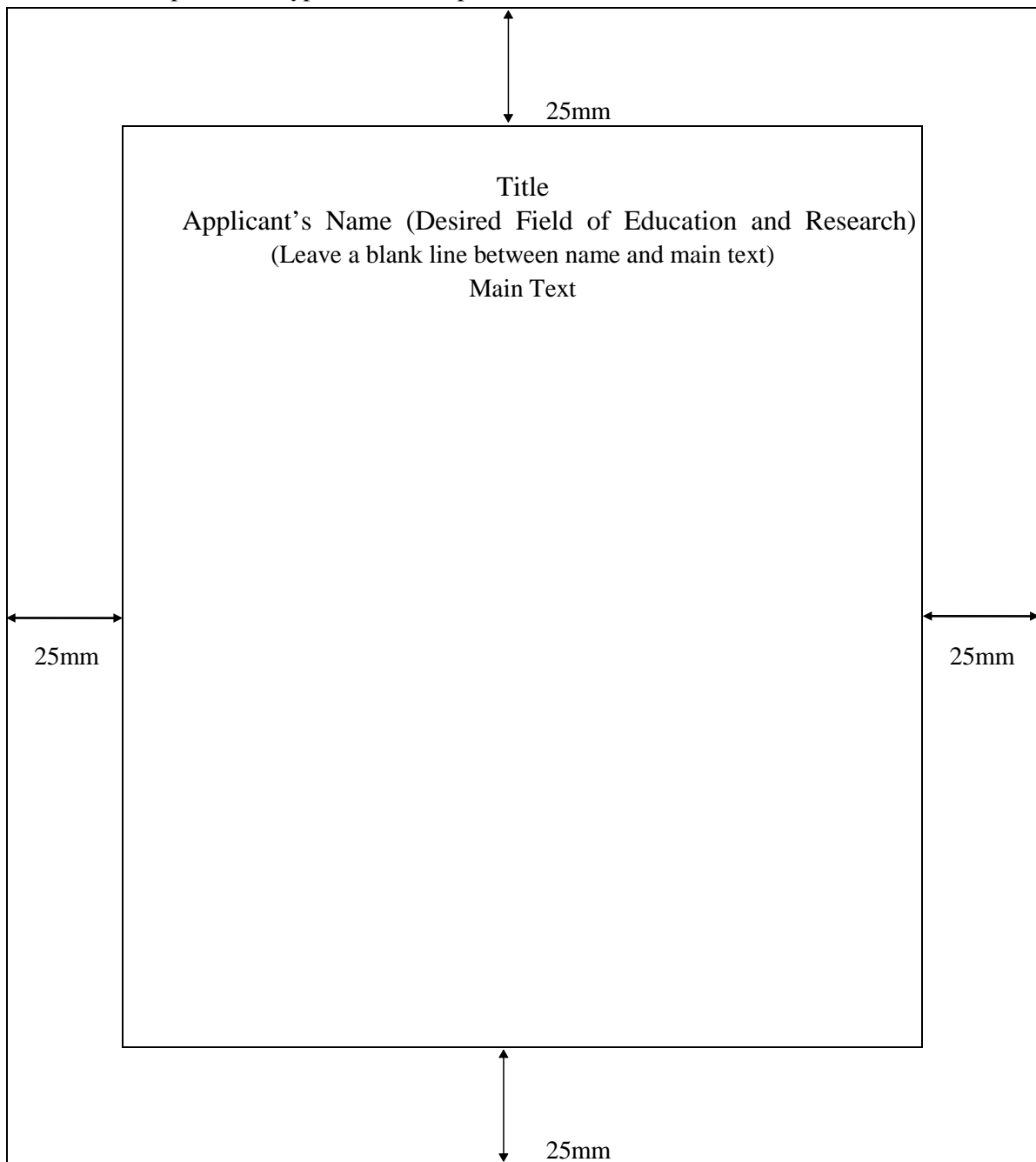
A4 (210 mm × 297 mm)

Font size etc.: Title, applicant's name and desired field of education and research: 12 point

Main text: 11 or 12 point

Title should be centered and applicant's name and desired field of education and research should be aligned to the right.

Based on your knowledge, describe the research you'd like to conduct at the graduate school including research plan, background, and methods etc. You may include tables and figures (black and white). Manuscript must be typed with word processor.



List of Fields of Education and Research

Department	Course	Field of Education and Research	Faculty Member	Keyword 1	Keyword 2	Keyword 3	Keyword 4	Keyword 5
Department of Dryland Science	General Program/Special Program in English	Soil and Water Management	Koji INOSAKO	Restoration of farm land	Soil-Plant-Atmospheric continuum system	Irrigation and drainage	Desalinization	Environmental biophysics
		Dryland Environmental Resources	Tsuneyoshi ENDO	Soil resources	Irrigated agriculture	Behavior of salts	Soil salinization	Environmental remediation
		Construction and Management Engineering of Facility in Rural Regions	Hidehiko OGATA	Irrigation and drainage facilities	Farm road	Functional diagnosis	Stock management	Frost damage
		Molecular Breeding	Hisashi TSUJIMOTO	Wheat	Stress tolerance improvement	Germplasm enhancement	Chromosome engineering	Food shortage
		Conservation Informatics	Atsushi TSUNEKAWA	Environmental evaluation and modeling	Remote sensing	GIS	Regional environmental planning	Sustainable Land Management
		Dryland Geomorphology	Paolo Billi	River geomorphology	River hydrology	Sediment dynamics	Gully erosion	Land degradation
		Irrigation and Drainage in Drylands	Haruyuki FUJIMAKI	Water-saving irrigation	Water harvesting	Leaching	Salinization	Erosion
		Agricultural Development Studies	Kumi YASUNOBU	Area studies	Farm management studies	Technology diffusion	Rural development	Common resource management
		Plant Nutrition	Satoshi YAMADA	Salinity	Mineral absorption	Crop quality	Aquaponics	Water saving
		Revegetation Science in Drylands	Norikazu YAMANAKA	Revegetation in arid areas	Ecosystem restoration	Forest ecology	Drought and salt tolerance of woody plants	Water relations of plants
		Environmental soil science	Sadahiro YAMAMOTO	Conservation oriented agriculture	Salt affected soils	Soil quality assesment	Soil organic matter	Soil formation and classification
		Sustainable Land Management	Nigusie Haregeweyn AYEHU	Land degradation	Sustainable land management	Integrated watershed management	Spatial analysis	Hydrologic modeling
		Plant Eco-Physiology	Ping AN	Environmental stresses	Mechanisms	Dry lands agriculture	Saline soils	Halophytes
		Dryland Health and Medicine	Shinji OTANI	Global health	Environmental medicine	Travel medicine	Infectious disease	Noncommunicable diseases
		Dryland Restoration and Conservation Ecology	Toshihiko KINUGASA	Arid and semi-arid grassland	Global environmental change	Human disturbance	Secondary succession	Plant matter production
		Applied Meteorology in Drylands	Reiji KIMURA	Boundary layer meteorology	Hydrometeorology	Remote-sensing	Aridity monitoring	Dust
		Dryland Climatology	Yasunori KUROSAKI	Climatology & meteorology	Aeolian dust	Wind erosion	Climatic variation	Desertification
		Land Environment and Conservation	Tadaomi SAITO	Soil water and solute movement	Interaction among soil, water and vegetation	Soil erosion	Environmental measurement techniques	UAV(Drone)
		Agricultural Water Use and Management	Katsuyuki SHIMIZU	Agricultural water use	Field hydrology	Assessment of water delivery performance	Soil salinization	Micro hydropower
		Renewable Energy Engineering	Kotaro TAGAWA	Solar and wind energy	Energy generation and conversion	Evaluation of energy system	Desalination	Heat and mass transfer
		Microbiology in Drylands	Takeshi TANIGUCHI	Microbial ecology	Ecosystem restoration	Use of rhizosphere microorganisms	Metagenome	Mycorrhizal fungi
		Crop Production in Drylands	Eiji NISHIHARA	Medicinal plants	Allelopathy	Mitigation of replant problem	LED light in plant factory	Biochar
		Facilities and Environmental Materials	Masahiro HYODO	Buried pipe	Evaluation of the residual strength	Environmental materials	Restoration of aquatic environment	Industrial by-product
		Global Change Ecology	Fei Peng	Global change	Field experiments	Desertification	Plant-soil interactions	Ecosystem
		Environmental Inorganic Chemical Toxicology	Sawako HORAI	Trace elements	Wildlife	Human	Ecosystem	Risk assessment
		Theoretical Physics	Natsumi IKENO	Relativistic quantum mechanics	Strong interaction	Meson	Nucleus	Numerical calculation
		Agricultural Extension Studies	Asres Elias BAYSA	Agricultural extension studies	Gender and development	Agricultural economics	Rural development	Africa
		Hydrospheric Environment Science	Yumi YOSHIOKA	Groundwater	Water cycle	Irrigation water use	Evaluation of socioeconomic factor	Irrigation and drainage

Name of Examinee			Examinee's Number	※
Emergency Contact Information	Name	ENG	Relationship to Applicant	
		JPN <small>(Required for Japanese people)</small>		
	Address	Zip code	TEL	
Resume <p>Applicants who are applying under (3), (4) or (6) of Qualification Requirements must fill all column including the ones of Primary Education (Elementary School) and Secondary Education (Middle School).</p>				
	Name and Address of School		Period of Attendance	Year and Month of Entrance and Completion
Example	(Name) <i>Tottori Elementary School</i>		6 years	(From) 2000.4
	(Location) <i>Tottori City, Tottori, Japan</i>			(To) 2006.3
Primary Education (Elementary School)※	(Name)		years	(From)
	(Location)			(To)
Secondary Education (Middle School)※	(Name)		years	(From)
	(Location)			(To)
(High School)	(Name)		years	(From)
	(Location)			(To)
Tertiary Education (Undergraduate)	(Name)		years	(From)
	(Location)			(To)
(Graduate Level)	(Name)		years	(From)
	(Location)			(To)
	(Name)		years	(From)
	(Location)			(To)

健康診断書

CERTIFICATE OF HEALTH (to be completed by the examining physician)

日本語又は英語により明瞭に記載すること。
Please fill out (PRINT/TYPE) in Japanese or English.

氏名 Name: _____
Family name, First name Middle name

男 Male 生年月日 Date of Birth: _____ 年齢 Age: _____
女 Female

1. 身体検査 Physical Examinations

(1) 身長 Height _____ cm 体重 Weight _____ kg

(2) 血圧 Blood pressure _____ mmHg ~ _____ mmHg 血液型 Blood Type

A	B	O	+
			RH -

脈拍 Pulse 整 regular 不整 irregular

(3) 視力 Eyesight: (R) _____ (L) _____
裸眼 without glasses 矯正 with glasses or contact lenses

(4) 聴力 Hearing: 正常 normal 低下 impaired
 言語 speech: 正常 normal 異常 impaired

2. 申請者の胸部について、聴診とX線検査の結果を記入してください。X線検査の日付も記入すること（6ヶ月以上前の検査は無効。）
 Please describe the results of physical and X-ray examinations of applicant's chest X-ray (X-ray taken more than 6 months prior to the certification is NOT valid).



肺 lung: 正常 normal 異常 impaired

心臓 Cardiomegaly: 正常 normal 異常 impaired

← Date _____
 Film No. _____

↓ 異常がある場合 ↓
 心電図 Electrocardiograph: 正常 normal 異常 impaired

Describe the condition of applicant's lung.

3. 現在治療中の病気 Disease Treated at Present: Yes (Disease: _____) No

4. 既往症 Past history: Please indicate with + or - and fill in the date of recovery

Tuberculosis..... (. . .) Malaria..... (. . .) Other communicable disease..... (. . .)
 Epilepsy..... (. . .) Kidney Disease..... (. . .) Heart Diseases..... (. . .)
 Diabetes..... (. . .) Drug Allergy..... (. . .) Psychosis..... (. . .)
 Functional Disorder in extremities..... (. . .)

5. 検査 Laboratory tests
 検尿 Urinalysis: glucose (), protein (), occult blood ()

赤沈 ESR: _____ mm/Hr, WBC count: _____ /mm³ 貧血 anemia

Hemoglobin: _____ mg/dl, GPT: _____

6. 診断医の印象を述べて下さい。
 Please describe your impression.

7. 志願者の既往歴、診察・検査の結果から判断して、現在の健康の状況は十分に留学に耐えうるものと思われますか？
 In view of the applicant's history and the above findings, is it your observation his/her health status is adequate to pursue studies in Japan?

yes no

日付 Date: _____ 署名 Signature: _____

医師氏名
 Physician's Name in Print: _____

検査施設名
 Office/Institution: _____
 所在地
 Address: _____

インターネット・インタビュー誓約書

Pledge for Internet-based Written Examination

私はABE Initiative Program入学者選抜試験のインターネット・インタビュー受験者として、次の事項を誓約します。

As an applicant taking an internet-based written examination for ABE Initiative Program Entrance Examination, I pledge to abide by the following articles.

1. 不正行為を一切行わないこと（インターネット・インタビュー実施中に本やウェブサイト等の資料を参照しないこと）

I will never cheat on the internet-based written examination. (I will never refer to any materials such as books and websites during the internet-based written examination.)

2. 以下の現地立会者（所属機関の上司等）監督の下でインターネット・インタビューを行うこと

I will take an internet-based written examination under supervision of the following observer.

*It is preferable that the applicant's boss or supervisor will be in charge of an observer.

所属・役職 (Affiliation/ Title) _____

氏名 (Name) _____

3. 鳥取大学からのインターネット・インタビュー実施に係るその他指示に従うこと

I will follow any instruction from Tottori University for the internet-based written examination.

4. 上記各項に違反した場合、試験結果が無効とされ、候補者として推薦されないことに同意すること

I agree that the examination result will be invalid and then I will not be nominated as a candidate if I violate any of the above mentioned articles.

誓約日 年 月 日
Date of Pledge Year Month Day

申請者氏名

Applicant's Name

申請者署名

Applicant's Signature

私は、主担当予定教員として上記の誓約書の内容を確認しました。

I confirmed the above-mentioned contents as a prospective primary supervisor at Tottori University.

確認日 年 月 日
Date of Confirmation Year Month Day

主担当予定教員氏名

印

Prospective Primary Supervisor's Name

Seal

